【主治医・ケアマネジャー連絡票の活用方法】

　この連絡票は、「主治医意見書は書かされたが、その後なんの連絡もなく、患者のケアマネも介護サービス内容も何もわからん」という主治医の不満や、「プラン作成上で主治医に話を聞きたいが、連絡を入れると嫌がられそうで、電話も掛けられない」というケアマネの嘆きを聞いて、お互いの垣根を低くする目的で作成しました。必要に応じて気軽に活用していただけると幸いです。

* ケアマネジャーは、介護保険新規利用者のケアプラン作成時や、すでに介護保険を利用している住民についても主治医への面談等が必要となった場合に、「主治医意見書」に記載されている主治医に対し「連絡票」に必要事項を記載して送付する。（FAXでも可）
* 主治医は、受け取った「連絡票」に必要事項を記載し、必ずケアマネジャーに返信する。（FAXでも可）



* + 当連絡票は、柳川山門医師会HPからもダウンロードできます。

（柳川みやま地域包括ケア代表者会議）